

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

北前船日本遺産のまち小樽 堪能イベント開催

EVENT 01 参加者募集

構成文化財を全て見学
深掘り小樽・北前船堪能バスツアー

定員 **20名**
抽選
1グループ
3名様まで

令和2年11月22日 日

参加料無料 昼食代(実費1000円/お一人様)

09:30 集合(小樽駅コンコース)

10:00 祝津パノラマ展望台、
中出張番屋(たなげ会)、恵美須神社(船絵馬)

11:00 小樽貴賓館(見学)

11:30 小樽貴賓館(昼食)

12:30 出発
北運河3倉庫見学
※見学してすぐバスで旧大家倉庫へ移動
旧大家倉庫
※バス降車、ガイド散策で旧小樽倉庫へ移動
旧小樽倉庫
(小樽市総合博物館運河館、小樽百貨UNGA↑)

13:45 運河クルーズ(集合)

14:00 運河クルーズ(乗船～14:40まで)

15:00 市立小樽美術館・特別展
「海を渡った九谷焼—北前船の華—」見学

15:30 出発

15:40 住吉神社、龍徳寺金比羅殿(船絵馬)

16:00 メルヘン交差点前で解散
※旧魁陽亭、堺町通りを紹介

お申し込み方法は裏面または下記をご参照ください
<http://www.o-plan.com/kitamaebustour>
当選者には後日事務局よりご連絡いたします。

EVENT 02

北前船入港を彷彿
小樽雪花火

令和2年12月19日 土 18:00～

冬の夜空に花開く
雪と音と花火のコラボレーション

打上場所:小樽港マリーナ
詳しくは専用サイトをご覧ください
<https://otaru-yukihanabi.com>

小樽雪花火 検索

EVENT 04

with コロナ・小樽北前船
観光推進シンポジウム

令和3年1月30日 土 14:00～16:30

会場 小樽経済センター7階大ホール

日本遺産「北前船」活用、本事業の検証、with
コロナ期のイベントのあり方等、関係者および
一般市民の方にご参加いただき、可能性を探り
ます。

詳細は下記よりご確認ください(2020.12月より掲載)
<http://www.o-plan.com/kitamaeseminar>

EVENT 03

北前船構成文化財カードをゲット
カードラリー

令和2年12月1日 四 スタート

※カードがなくなり次第終了

9枚のカードを集めて「北前船カード
コンプリート認定証」と「小樽雪花火
優待チケット」をもらおう!

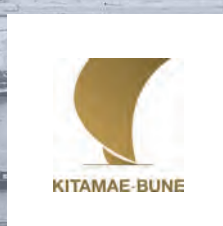
カードの種類

- 01 日和山
- 02 船絵馬群
- 03 旧魁陽亭
- 04 旧右近倉庫・旧広海倉庫・旧増田倉庫
(旧北浜地区倉庫群)
- 05 旧大家倉庫(旧北浜地区倉庫群)
- 06 旧小樽倉庫(旧北浜地区倉庫群)
- 07 住吉神社奉納物
- 08 西川家文書
- 09 北前船古写真(立岩前の北前船)

カード設置場所のご案内
<http://www.o-plan.com/kitamaecard>



小樽雪花火優待チケットのご案内
<https://otaru-yukihanabi.com>



(写真提供:小樽市総合博物館)

イベントは「新北海道スタイル」を
実施し、開催いたします

本事業の運営にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止には万全を期して臨みます。「感染症対策マニュアル」を作成し、マニュアルに
沿った対応をいたしますので、参加者の方におかれましては、実行委員会の方針に従ってご協力くださいますようお願い申し上げます。

荒波を越えた男たちの

夢が紡いだ異空間

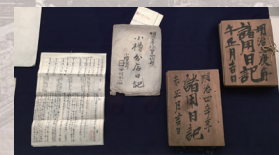
〈北前船寄港地・船主集落〉

江戸時代、経済の大動脈であった北海道・東北・北陸を結ぶ西廻り航路。主にこの航路を利用した商船は『北前船』と呼ばれました。北前船は、船主自身が寄港地で仕入れた多種多様な商品を、別の寄港地で販売する買い積み方式により利益をあげたことから、「動く総合商社」と形容されます。当時北海道で大量に獲れたニシンは、西日本では肥料として高く売れ、西日本の古着は東日本では高価な商品となるなど、北前船での商いは、当時の国内の地域間格差によって大きな利益を生み出し、その富は莫大なものとなったのです。

明治2年、北海道に開拓使が設置されると、各地から開拓民が押し寄せ、人口が急増します。北前船は、従来の交易に加え、生活物資を運ぶという新たな役割も担うようになりました。小樽港は、北前船の重要な寄港地として発展を遂げていき、北前船主たちは次々と小樽に進出、大規模な木骨石造倉庫などを建造して事業を拡大していきます。

船主や問屋たちの社交場としてにぎわう料亭、商家や蔵などの大規模な建造物、そこには、農村や城下には見られない、商人たちの築いた町がありました。また、神社仏閣への寄進や、船絵馬など、航海の安全を祈願した奉納物も多数残され、船主や問屋たちの篤い信仰を伺うこともできます。

日本海の荒波を越え、一攫千金を夢見た男たちが、人・物・文化を運んだ『北前船』。北海道にやってきた人たちの生活を支え、小樽の発展の基礎をつくったとも言えるのです。



(写真提供:小樽市総合博物館)

お申込み方法

EVENT 01 深掘り小樽・北前船堪能バスツアー

日時 令和2年11月22日(日)

定員 20名(抽選)

申込期限

集合場所 小樽駅コンコース(9:30集合)

参加料 無料(昼食代実費1,000円/お1人様)

令和2年11月13日(金)

下記申込み用紙にご記入の上FAXにてご応募ください。

1グループ3名様までお申込みできます。

(株)オー・プラン

FAX. 0134-29-0594

申込年月日 年 月 日

お名前 (代表者)	フリガナ	性別	男性・女性	申込人数 合計	名
		年齢	歳		
ご住所	〒				
電話番号	日中にご連絡の取れる電話番号をご記入願います。	メールアドレス	@		

※当選者には後日事務局よりご連絡いたします。

※ご記入頂いた個人情報は、当会が責任をもって管理し、本イベントにのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。